

## <防犯カメラシステムについて>

Scmは公益的立場から、地域コミュニティに貢献するようなCATV施設を活用した、情報通信インフラについて、調査、研究をしてきました。

防犯カメラシステムは、既存のCATV施設を活用した具体的なシステムとして、平成17年度の機器動作実験を踏まえ、平成19年2月より運用を行っています。(千葉県市原市ちはら台地区)

安心・安全なまちづくりに役立てることができます。

Scmの防犯カメラシステムは、公共空間を監視するもので、犯罪の抑止効果等に期待ができ、安心・安全なまちづくりの形成に役立てることができます。また、24時間体制で防犯カメラを作動させ映像データの保存を行うため、万が一、事故等が起きた際には、その時点の映像を確認することができます。

地元の自治会等を運営主体とした安定した非営利な運営体制が必要です。

Scmは防犯カメラシステム機器を地元自治会に貸与し、自治会が主体となって防犯カメラシステムの運営を行っています。そのため非営利で、安定した運営が可能となっています。

外部進入の心配がない安全なイントラネットシステムです。

地区区域内だけの、独立したCATV回線によるイントラネットシステムなので、通常のインターネット回線とは異なり、外部から進入される心配がなく、セキュリティ面も安全です。また、既存CATV回線と低廉な汎用機器を用いることで、防犯カメラシステムの構築をローコストで行うことを可能としました。

通常はサーバーにカメラ映像を自動保存するのみとし、プライバシーを守ります。

IPカメラとCATV回線で接続された映像記録専用サーバーが、IPカメラからの映像データを自動的に保存します。

万が一、事故等で映像の確認が必要になった場合のみ、映像再生専用のパソコンでサーバーに保存された映像データを確認します。

データ閲覧には、専用機器やIDが必要となり、部外者が容易に映像を見ることのできない、安全なシステムとなっています。

通常の運用は、機器による映像データの自動保存のみであるため、個人のプライバシーが保たれています。

防犯カメラの設置例 と 防犯カメラからの映像例

防犯カメラの設置例



防犯カメラ映像例 幹線道路交差点付近

